

明石市公共施設配置適正化計画の改定に向けた検討状況について

明石市公共施設配置適正化計画（第2期：2034年度まで）につきましては、中長期的な視点から公共施設の効率的・効果的な配置を定め、各施設の総合的な管理を行うことにより、将来的に持続可能な施設運営を図るため、市議会への検討状況説明会及び意見交換会や、明石市財政及び公共施設のあり方に関する検討会、ワークショップなどを実施しながら、令和8年3月の策定に向けて検討を進めています。

については、現在の検討状況と今後の取組予定について報告します。

1 主な計画改定の内容

(1) 基本計画と実行計画の統合

- ・国の公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針の改定に伴い、記載事項についての地方公共団体の事務負担の軽減や簡素化などに基づく対応

(2) 第2期以降の数値目標の見直し

- ・第1期の取組についての検証結果をはじめ、社会情勢や人口推移、財政状況などの変化を踏まえた施設総量の縮減目標の見直しによる新たな目標の設定

(3) 第2期における重点的に取り組む施設の選定と取組方針の設定

- ・第1期計画の検証を踏まえ、第2期に引き継ぐ施設や、新たに重点的に取り組むために追加する施設の選定及び取組方針等の設定

2 これまでの検討状況

時期	実施内容
4月28日	市議会全議員に対する計画改定に関する検討状況説明会
5月28日～ 6月2日	市議会各会派からの意見書に基づく意見交換会
5月9日～ 6月2日	市民アンケートの実施 <u>回答 724人 (Web : 671人、紙 53人)</u> ・Webでの回答、及び廃止・縮小・民営化を検討する施設や住民票等交付窓口にアンケート用紙を設置
6月1日	第1回財政及び公共施設のあり方に関する検討会 ・第1期計画 背景等概要、取組、検証結果、評価 ・第2期計画 基本方針、目標の設定、取組手法などの検討 など
6月15日	第2回検討会 ・市議会意見の概要・アンケート結果の報告 ・第2期計画の基本的な取組方針・重点施設の取組方針の検討 など
7月6日	ワークショップ「これからの明石の公共施設について考える」参加者 <u>21名</u> ・「枠にとらわれない活用方法」「これからの公共施設は〇〇していこう」などの提案・意見
8月17日	第3回検討会 ・ワークショップの意見概要 ・基本的な取組方針（基本理念・数値目標の検討） ・重点施設の取組方針（重点施設と優先的に検討する施設の選定、優先的に検討する施設の取組方針(案)の検討) など

3 計画（方針案）

市議会や検討会、ワークショップなどの意見等を踏まえ、第3回検討会の資料に反映しています。（一部、検討に時間を要するものを除く。）

(1) 基本計画部分 資料1

① 基本理念

安全・安心で、持続可能な公共施設を、みんなで
～「対話と共創」で魅力ある明石を未来へ～

② 基本方針（6つの原則）

「施設総量を縮減する」 「機能重視へ転換する」 「施設を長寿命化する」
「産官学連携を積極的に推進する」 「施設廃止による収入は、更新費用に充てる」
「インフラは、長寿命化等によるライフサイクルコストの縮減などで対応する」

③ 数値目標（2034年度）

ア 施設総量（延床面積）の縮減（2023年度末比）

- ・改修・更新費用の不足額からの試算では9%の縮減が必要です。一方で、学校教育系施設（施設総量の42%）について、今後10年間では施設の統廃合を見込んでいないため、達成は現実的に難しいと考えられます。
- ・実現性の観点から次の2案を検討しています。

案1	市民一人あたりの施設総量を維持する縮減目標 (国の人口推計では人口が今後10年で4%減少見込)	▲4%
案2	第1期の増加分を縮減する目標 (施設総量が過去10年で2.1%増加)	▲2%

イ 管理運営費等（コスト）の削減

- ・今後、物価や人件費の高騰が見込まれるとともに、老朽化した施設の安全性を確保するには多額の財源が必要となるため、これまでの取組（第1期：累計約20億円の削減）に加え、更なる財源確保に取り組む必要があります。
- ・第2期では新たに管理運営費等の削減について数値目標の設定を検討しています。

10億円の削減効果（年平均1億円×10年間）

④ 第3回検討会での主な意見の概要

ア 基本理念

- ・公共施設配置適正化は施設が減らされる暗いイメージが強い。基本理念の説明に総量は減らすが、サービスは拡充し質を向上させるといった明るくポジティブな内容を付け加えてはどうか。

イ 数値目標

- ・施設総量（延床面積）の縮減について、市営住宅等の取組が順調に進めば2%以上の縮減が見込まれることや、本来必要な縮減規模を考えると最低4%が適切である。

(2) 重点施設の取組方針 **資料2**

- ・第1期の検証と、現下の社会情勢や施設の設置目的、保有量、劣化度、利用実態等を踏まえて、第2期の重点施設を選定し、各施設の今後の取組方針を検討しています。

① 重点施設の選定

第2期 重点施設一覧 (18施設)	
1 サービスコーナー	10 卸売市場
2 小学校区コミュニティ・センター	11 少年自然の家
3 中学校区コミュニティ・センター	12 市営住宅
4 市民会館	13 あかし斎場旅立ちの丘
5 厚生館	14 明石駅前立体駐車場
6 幼稚園・保育所・認定こども園	15 放課後児童クラブ (新)
7 小学校	16 木の根学園 (新)
8 中学校	17 地方独立行政法人明石市民病院 (新)
9 勤労福祉会館	18 石ヶ谷墓園 (新)

② 現在、検討会で優先的に検討している重点施設

重点施設一覧 (5施設)	
1 サービスコーナー	13 あかし斎場旅立ちの丘
4 市民会館	14 明石駅前立体駐車場
9 勤労福祉会館	

③ 第3回検討会での主な意見の概要

- ・②の重点5施設に関する意見は、**資料3**のとおり

4 今後のスケジュール案等

(1) 今後のスケジュール

時期	取組内容
11月	第4回検討会 (11月16日 (日)) ・素案 (基本的な取組方針) や重点施設の取組内容の検討 など
12月	12月議会: 総務常任委員会報告 ・計画 (素案) の内容報告 パブリックコメント (~1月)
1~2月	第5回検討会 ・最終案の内容審議
3月	3月議会: 総務常任委員会報告 ・最終案の内容報告 第2期計画の策定、公表

(2) その他

- ・保健所の多目的ホールの貸出については、公共施設の更なる有効活用、産業振興及び歳入確保の観点から、貸出対象者の拡大に向け検討していきます。